

【演題名】 両眼性の多発霰粒腫に対する Intense Pulsed Light の有効性と安全性の検証

【英文タイトル】

The safety and efficacy of Intense Pulsed Light on Multiple Chalazia

【ショートタイトル】 多発霰粒腫に対する IPL の効果

【英文ショートタイトル】 Efficacy of IPL on Chalazion

臨床研究、涙液、ドライアイ

有田玲子 1,2,4、福岡詩麻 1,3,4

1. LIME 研究会, 2.伊藤医院, 3. 大宮はまだ眼科西口分院、4.東京大

【目的】 従来、霰粒腫は、切開と搔爬による「切る」治療が主流であったが、マイボーム腺の形態と機能を守るために、霰粒腫の「切らない」治療が注目されている。特に多発霰粒腫や再発霰粒腫においてはダメージをうけるマイボーム腺の領域が広く、将来的にドライアイを引き起こす懸念がある。今回、両眼性の多発霰粒腫に対し、近年マイボーム腺機能不全に対して有効性が認められている Intense Pulsed Light (IPL)による治療を行い、安全性と有効性を検討した。

【方法】 対象は、伊藤医院を受診し、温罨法と眼瞼清拭を2ヵ月行っても改善しなかった両眼性多発霰粒腫患者6例12眼（全員女性、平均年齢36.8 ± 12.1歳）。IPL (AQUA CEL, Jeisis社)を2週毎に改善するまで施行した。自覚症状、眼瞼縁所見、角結膜上皮障害、マイバム、マイボスコア、シルマー値、DemodexをIPL施行前と治療終了1ヶ月後に検査し比較した。

【結果】 IPL施行前、平均2.5±0.8個、大きさ平均9.0±5.2mmの霰粒腫を認めた。平均2.8±1.3回のIPLにより、全例で両眼の霰粒腫が治癒した。IPL施行前と比較し施行後、マイボスコアとシルマー値以外のパラメータが有意に改善した（各 $P<0.05$ ）。PluggingやDemodexが多いほど、角結膜上皮障害・マイバムグレード・シルマー値が高値であるほど、霰粒腫治癒までに多数回のIPLを要した。IPLによる副作用はなかった。

【結論】 IPLによる多発霰粒腫の治療は安全で有効だった。

【利益相反公表基準：該当】 有田玲子 有（【P】）、福岡詩麻 無、